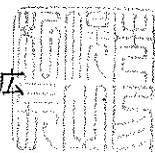


令和7年（2025年）3月26日付け札幌市告示第1253号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和7年（2025年）4月3日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

札幌市告示第1253号別表の工事番号「25(土)第0068号」工事名「国庫補助事業 手稲跨線橋ほか2橋補修工事」にかかる設計図書の一部を下記のとおり訂正し、入札日等を別表のとおり変更する。

2 設計図書の訂正箇所

別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

電子入札

(入札日等訂正版)

0	調達案件番号		2502006811
1	工事（業務）番号		25（土）第 0068 号
2	工事（業務）概要	工事（業務）名	国庫補助事業 手稲跨線橋ほか2橋補修工事
		工事（履行）場所	札幌市手稲区前田1条10丁目ほか
		工事（業務）内容	【手稲跨線橋(車)】橋長228.6m 幅員9.0m 現場塗装工：一式 橋面防水工：一式 車道舗装工(t=5cm)：一式 ひび割れ補修工：一式 支承補修工：一式 断面修復工：一式 伸縮装置取替工：一式 【手稲跨線橋(右歩)】橋長61.9m 幅員2.0m 現場塗装工：一式 ひび割れ補修工：一式 支承補修工：一式 断面修復工一式 照明取替工 一式 【手稲跨線橋(左歩)】橋長107.42m 幅員2.0m 現場塗装工：一式 ひび割れ補修工：一式 支承補修工：一式 断面修復工：一式 照明取替工：一式
		工期（履行期間）	着手の日から令和8年02月06日まで
6	入札参加資格の 申請及び審査	審査方式	事後審査方式（入札参加資格の確認は落札を保留して行う。）
		申請書等提出期限（日）	開札日の翌日まで（審査順1位の落札候補者のみ）
		落札結果通知予定日	令和7年5月1日
11	入札及び開札の日 時・場所等	電子入札案件区分	電子入札
		入札期間（年月日）	令和7年04月14日（08時00分～20時00分） 令和7年04月15日（08時00分～17時00分）
		開札予定日時	令和7年04月16日 09時30分
		場所	札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎14階財政局入札室
		提出方法	電子入札システムによること。
13	契約締結に関する事 項等	契約締結期限	落札結果通知日の翌日から起算して5日後（5日後が土曜日、日曜日及び休 日の場合は翌開庁日）まで。ただし、落札結果通知日が令和7年05月01日 の場合は令和7年05月12日まで。※期限内に契約を締結しない場合は落札を取 り消す。
		入札保証金	免除する。
		契約保証金	工事－徴収する。ただし、利付国債の提供、金融機関等の保証、履行保証証 券、履行保証保険（定額補填方式）によることができる。 業務－徴収する。ただし、利付国債の提供、金融機関等の保証、履行保証証 券、履行保証保険（定額補填方式）によることができる。また、札幌市契約 規則第25条第3号に該当する場合は免除する（詳細は告示文を参照）。
17	施行担当課及び 電話番号	施行担当課	建）土木部街路工事担当課
		電話番号	011-211-2623

特記仕様書（共通事項）

共 01. 工期設定について

工期：令和 7 年 4 月 28 日から令和 8 年 2 月 6 日まで（冬期日数 98 日）

なお、本工事の工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に下記の事項を見込んでいる。

① 準備期間	40 日間
② 後片付け期間	20 日間
③ 雨休率 (実働日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数)	0.7

共 02. 中間技術検査について

中間技術検査の実施の有無及び実施の場合の詳細については、工事監督員の指示によるものとする。

共 03. 工事安全管理現場委員会について

- 1) 本工事の施工に当たり、安全管理を図る目的で発注者と受注者が相互に協力し、工事安全管理現場委員会（以下「現場委員会」という。）を設置するものとする。また、施工計画書には別記「現場委員会設置例」を参考に「工事安全管理現場委員会組織図」を添付すること。
- 2) 現場委員会における必須事項は次のとおりとする。
 - i) 工事着手時に施工計画書に基づき、工事の安全管理について協議を行う。
 - ii) 工事着手時は特に次の事項に留意して工事の安全対策を行う。
 - a) 工事現場内の整理、整頓に関する確認
 - b) 作業従事者及び使用機器類の保安の確認
 - c) 工事現場周辺の歩行者の安全対策及び仮設通路の確保
 - d) 工事現場内外に搬出する車両等による災害防止対策
 - e) 土砂等の崩壊事故の防止対策
 - f) 仮設構造物の安全確認
 - g) 地下埋設物の確認及び事故防止対策
 - h) 架空線又は高圧線の保全の確認
 - i) 緊急事態発生時の体制と対策
 - iii) 工事期間中において、上記の事項について安全対策を実施し、その評価を適宜行う。
 - iv) 安全パトロールにおいて、「改善」と評価された場合は、改善策についての会議を行う。その他の評価工事についても、さらなる安全の確保のため、会議を適宜行う。
 - v) その他の必要事項については、それぞれの現場で検討する。

共 04. 工事看板等の保守について

本工事の施工に当たり設置した工事看板等については、泥はね等の汚損や着雪などにより視認性が低下しないよう、適切に保守点検を行うこと。

共 05. 札幌市生活環境の確保に関する条例について

本工事において、下記に該当する作業を行う場合は『札幌市生活環境の確保に関する条例』（以下「条例」という。）に基づく規制や手続きが適用されるので留意すること。

- 1) 工事現場の土場において、次の作業を 3 か月以上行う場合は、指定作業として条例第 68 条により敷地境界における騒音の基準が適用されるため、本工事において土場を使用する場合は、近隣の生活環境へ配慮した場所の選定及び指定作業に関する規制基準を遵守すること。
 - i) 木材の切削

特記仕様書（共通事項）

共 01. 工期設定について

工期：令和 7 年 5 月 12 日から令和 8 年 2 月 6 日まで（冬期日数 98 日）

なお、本工事の工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に下記の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30 日間
② 後片付け期間	20 日間
③ 雨休率 (実働日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数)	0.7

共 02. 中間技術検査について

中間技術検査の実施の有無及び実施の場合の詳細については、工事監督員の指示によるものとする。

共 03. 工事安全管理現場委員会について

- 1) 本工事の施工に当たり、安全管理を図る目的で発注者と受注者が相互に協力し、工事安全管理現場委員会（以下「現場委員会」という。）を設置するものとする。また、施工計画書には別記「現場委員会設置例」を参考に「工事安全管理現場委員会組織図」を添付すること。
- 2) 現場委員会における必須事項は次のとおりとする。
 - i) 工事着手時に施工計画書に基づき、工事の安全管理について協議を行う。
 - ii) 工事着手時は特に次の事項に留意して工事の安全対策を行う。
 - a) 工事現場内の整理、整頓に関する確認
 - b) 作業従事者及び使用機器類の保安の確認
 - c) 工事現場周辺の歩行者の安全対策及び仮設通路の確保
 - d) 工事現場内外に搬出する車両等による災害防止対策
 - e) 土砂等の崩壊事故の防止対策
 - f) 仮設構造物の安全確認
 - g) 地下埋設物の確認及び事故防止対策
 - h) 架空線又は高圧線の保全の確認
 - i) 緊急事態発生時の体制と対策
 - iii) 工事期間中において、上記の事項について安全対策を実施し、その評価を適宜行う。
 - iv) 安全パトロールにおいて、「改善」と評価された場合は、改善策についての会議を行う。その他の評価工事についても、さらなる安全の確保のため、会議を適宜行う。
 - v) その他の必要事項については、それぞれの現場で検討する。

共 04. 工事看板等の保守について

本工事の施工に当たり設置した工事看板等については、泥はね等の汚損や着雪などにより視認性が低下しないよう、適切に保守点検を行うこと。

共 05. 札幌市生活環境の確保に関する条例について

本工事において、下記に該当する作業を行う場合は『札幌市生活環境の確保に関する条例』（以下「条例」という。）に基づく規制や手続きが適用されるので留意すること。

- 1) 工事現場の土場において、次の作業を 3 か月以上行う場合は、指定作業として条例第 68 条により敷地境界における騒音の基準が適用されるため、本工事において土場を使用する場合は、近隣の生活環境へ配慮した場所の選定及び指定作業に関する規制基準を遵守すること。
 - i) 木材の切削

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	国庫補助事業 手稲跨線橋ほか2橋補修工事	当 初	事業区分	道路維持・修繕	
					工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
断面修復工				式	1		
左官工法			1構造物当り修復延べ 体積 0.23m3 有り	構造物	1		単-24号
左官工法			1構造物当り修復延べ 体積 0.54m3 無し	構造物	1		単-25号
遊離石灰除去工				式	1		
遊離石灰除去工				m2	48		単-26号
表面含浸剤塗布				式	1		
シリ系表面含浸材				m2	647		単-27号
剥落防止材設置				式	1		
剥落防止材設置工				m2	1		単-28号
現場塗装工				式	1		
橋梁塗装工				式	1		
素地調整				m2	12		単-29号

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	国庫補助事業 手稲跨線橋ほか2橋補修工事	当 初	事業区分	道路維持・修繕	
					工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
断面修復工				式	1		
左官工法			1構造物当り修復延べ 体積 0.23m3 有り	構造物	1		単-24号
左官工法			1構造物当り修復延べ 体積 0.54m3 無し	構造物	1		単-25号
遊離石灰除去工				式	1		
遊離石灰除去工				m2	48		単-26号
表面含浸剤塗布				式	1		
ケイ酸ナトリウム系表面含浸材				m2	647		単-27号
剥落防止材設置				式	1		
剥落防止材設置工				m2	1		単-28号
現場塗装工				式	1		
橋梁塗装工				式	1		
素地調整				m2	12		単-29号

単一26号

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		2025. 3 2025. 3 1.000-00000002000
遊離石灰除去工		単位 m2 数量 1
名称	規格	単位 数量 摘要
遊離石灰除去工	ディスクサンダー等による除去【R6実勢価格調査単価】	m2 1
計		
単価		円/m2

単一27号

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		2025. 3 2025. 3 1.000-00000002000
シン系表面含浸材		単位 m2 数量 1
名称	規格	単位 数量 摘要
シン系表面含浸材	マジカルペーパーHV 1回塗り 200m2以上【北海道開発局単価】	m2 1
計		
単価		円/m2

単一26号

1 次単価表（金抜き）

単価適用年月	2025. 3
歩掛適用年月	2025. 3
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

遊離石灰除去工		単位	m2	数量	1
名称	規格	単位	数量	摘要	
遊離石灰除去工	ディスクサンダー等による除去【R6実勢価格調査単価】	m2	1		
計					
単価				円/m2	

単一27号

単価適用年月	2025. 3
歩掛適用年月	2025. 3
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

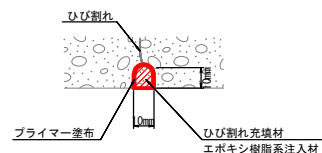
クイ酸ナトリウム系表面含浸材		単位	m2	数量	1
名称	規格	単位	数量	摘要	
クイ酸ナトリウム系表面含浸材	CS-21 1回塗り 100m2以上【北海道開発局単価】	m2	1		
計					
単価				円/m2	

床版補修工図(5)

S-Free

ひび割れ補修工

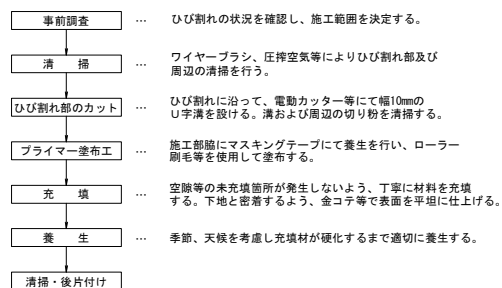
(充填工法)

(適用: $W \geq 1.0\text{mm}$ または、 $0.2 \leq W < 1.0\text{mm}$ 程度析出物有りの場合)

【ひび割れ深さの想定】

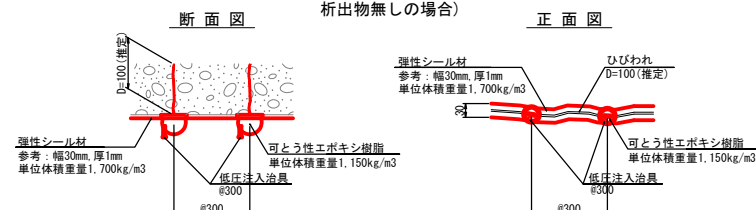
本設計ではひび割れ深さを100mmと想定する。

ひび割れ充填工 施工手順（参考）



ひび割れ補修工

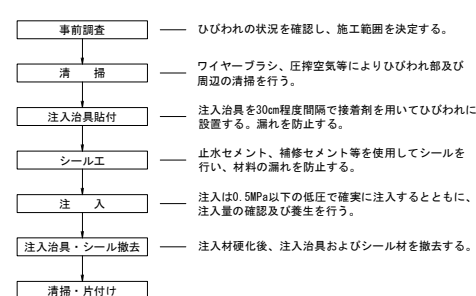
(低圧注入工法)

(適用: $0.2 \leq W < 1.0\text{mm}$ 程度析出物無しの場合)

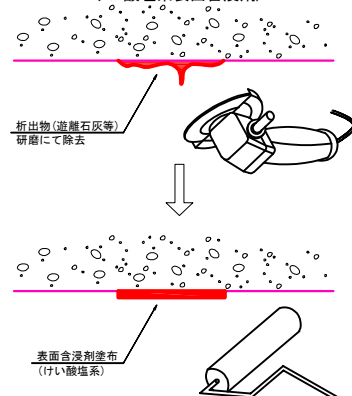
【ひび割れ深さの想定】

本設計ではひび割れ深さを100mmと想定する。

ひび割れ注入工 施工手順（参考）

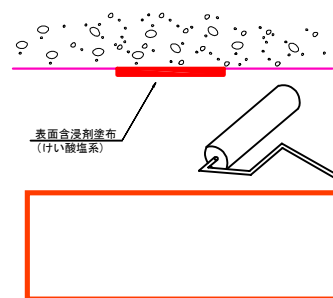


遊離石灰除去工

(コンクリート研磨～下地処理)
～けい酸塩系表面含浸材)

表面含浸剤塗布

(けい酸塩系表面含浸材)



【特記事項】

1. 施工にあたっては現地寸法を再計測すること。
2. 損傷を再確認し、図面明示以外の損傷が認められた場合には監督員と補修範囲について協議すること。
3. ひび割れ補修工について
 - ・ $W=0.2 \sim 0.3\text{mm}$ 程度の遊離石灰析出のないひびわれである為、注入工法とする。
 - ・ ひびわれ補修材は挙動の大きい部位である為、可とう性エポキシ樹脂とする。
 - ・ 遊離石灰除去工後に遊離石灰詰まりの $W=0.2\text{mm}$ 以上のひびわれが確認された際はひびわれ充填工法による施工等、適宜、対策を講じること。
4. 施工に際して
 - ・ 使用する材料の施工可能気温等の使用にあたっての注意事項に留意すること。

【手稲路線橋】

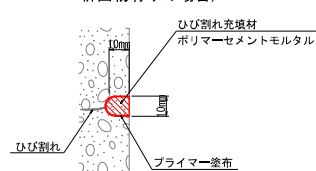
事業年度	令和7年度		
工事名	国庫補助事業 手稲路線橋ほか2橋補修工事		
図面名	床版補修工図(5)		
縮尺	図示	図面番号	9
札幌市建設局土木部			

下部工補修工図(2)

S-Free

ひび割れ補修工

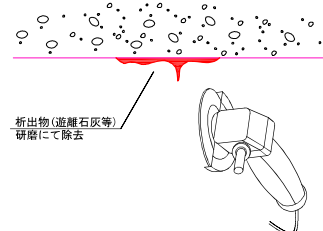
充填工法

(適用：W $\geq$ 1.0mmまたは、析出物有りの場合)

【ひび割れ深さの想定】
本設計ではひび割れ深さを100mmと想定する。

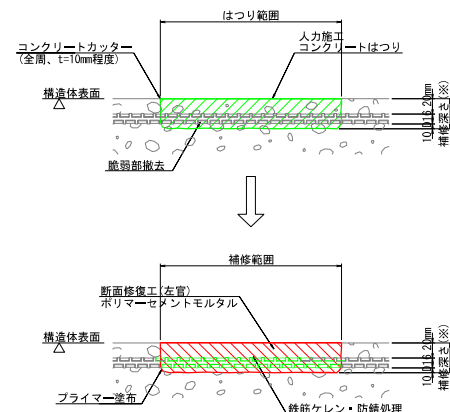
遊離石灰除去工概要図

(コンクリート研磨～下地処理)



断面修復工詳細図(参考)

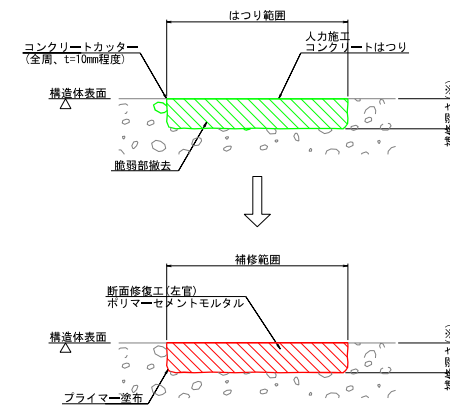
左官工法(防錆処理あり)



(※) 鉄筋露出部の補修深さは鉄筋表面までのかぶり20mmとし、鉄筋径D16mm(想定)+10mm(鉄筋までのハツリ厚)を切り上げ、40mmで設定する。

断面修復工詳細図(参考)

左官工法(防錆処理なし)

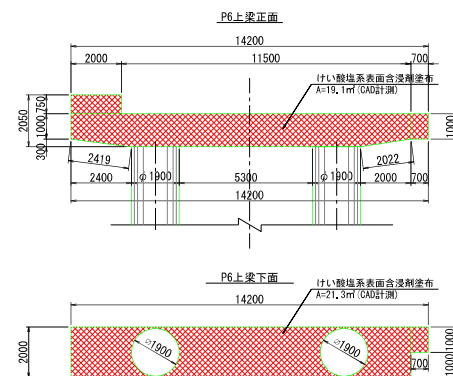


(※) 下部工の補修深さは各損傷毎に計測した平均の厚さとし、概数とする。

ひび割れ充填工 施工手順(参考)

事前調査	...	ひび割れの状況を確認し、施工範囲を決定する。
清掃	...	ワイヤーブラシ、圧搾空気等によりひび割れ部及び周辺の清掃を行う。
ひび割れ部のカット	...	ひび割れに沿って、電動カッター等にて幅10mmのU字溝を設ける。溝および周辺の切り粉を清掃する。
プライマー塗布工	...	施工部面にマスキングテープにて養生を行い、ローラー・刷毛等を使用して塗布する。
充填	...	空隙等の未充填箇所が発生しないよう、丁寧に材料を充填する。下地と密着するよう、金コテ等で表面を平坦に仕上げる。
養生	...	季節、天候を考慮し充填材が硬化するまで適切に養生する。
清掃・後片付け	...	

P-6橋脚表面含浸材塗布図



(※) P6橋脚上梁部は第三者被害位置であることから断面修復後は、けい酸塩系表面含浸材を塗布し、コンクリート表面の緻密化を図り、再劣化予防対策をする。

含浸剤の塗布は密着面を除く上梁部の全ての面とする。
(※) けい酸塩系表面含浸材は、ひび割れ透水抑制効果が高く、施工時の散水作業が不要である「リアクトライズH」と同等品を使用すること。

断面修復工(左官工法) 施工手順(参考)

事前調査	...	劣化状況を確認し、施工範囲を決定する。
不健全断面の除去	...	コンクリートカッターで対象面境界部を切断し、人力ハツリにて不健全断面を除去する。
防錆処理工	...	鉄筋等が露出し、腐食している場合には錆を落とし、防錆材を塗布する。
プライマー塗布工	...	ハツリ面にプライマーをローラー・刷毛を使用して塗布する。
断面修復(左官工法)	...	始めの1層目は約10mm程度で薄めに下地に強く押し付けるように塗り付け、その後の塗り重ねは下層となじませる。1日の施工は50mmを目安として10mm以内の厚さで塗り重ねる。
養生	...	季節、天候を考慮して適切に実施する。外気温が5℃以下になる場合は適切な養生を行う。

【特記事項】

1. 施工にあたっては現地寸法を再計測すること。
2. 損傷を再確認し、図面明示以外の損傷が認められた場合には監督員と補修範囲について協議すること。
3. 断面修復工(左官工法)について
 - ・下部工の補修深さは各損傷毎に計測した平均の厚さとし、概数とする。
 - ・既設コンクリートの脆弱部はこれに寄らず撤去すること。
 - ・はつり深さが著しく大きくなる場合は、事前に監督員と協議すること。
 - ・断面修復材料はポリマーセメント系モルタルを基本とする。(σ_{ck}=24N/mm²以上)
 - ・P6橋脚上梁部は第三者被害位置であることから断面修復後はけい酸塩系表面含浸材を塗布し、再劣化予防を図ることとする。
 - ・P10橋脚R側上梁部は広範囲に亘る遊離石灰析出であるが、30mm程度はつり取り、断面修復工にて補修すること。
4. ひびわれ補修工について
 - ・ひびわれ幅が比較的大きいことと、遊離石灰析出が見られた為、充填工法とする。
 - ・ひびわれ補修材料はポリマーセメント系モルタルを基本とする。(σ_{ck}=24N/mm²以上)
5. 遊離石灰除去工について
 - ・遊離石灰除去工は電動工具を用いて除去する。除去後にひびわれが確認された際はひびわれ充填工法による施工等、適宜、対策を講じること。
6. 施工に際して
 - ・施工の際はコンクリート殻等を落下させぬよう、十分留意すること。
 - ・断面修復工施工の際は確実にプライマー処理を施し、再劣化や剥落させないこと。

事業年度	令和7年度		
工事名	国庫補助事業 手稲跨線橋ほか2橋補修工事		
図面名	下部工補修工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	26
札幌市建設局土木部			

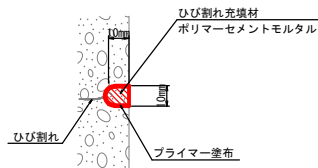
下部工補修工図(2)

S-Free

ひび割れ補修工

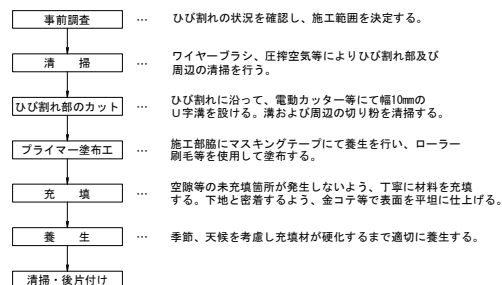
充填工法

(適用: $W \geq 1.0\text{mm}$ または、析出物有りの場合)



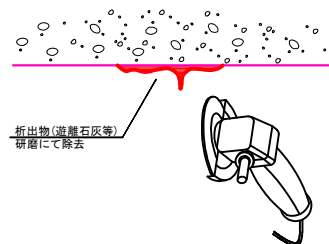
【ひび割れ深さの想定】
本設計ではひび割れ深さを100mmと想定する。

ひび割れ充填工 施工手順 (参考)



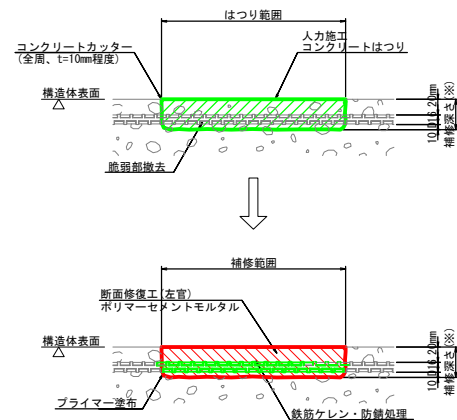
遊離石灰除去工概要図

(コンクリート研磨～下地処理)



断面修復工詳細図(参考)

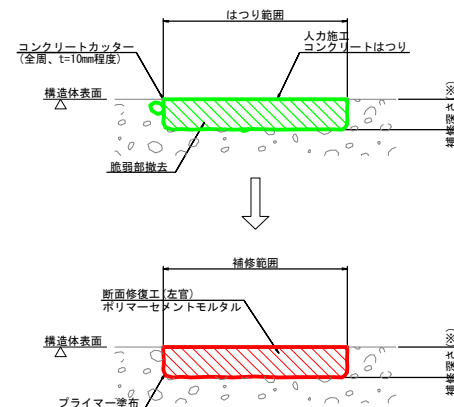
左官工法(防錆処理あり)



(※) 鉄筋露出部の補修深さは鉄筋表面までのかぶり20mmとし、鉄筋径D16mm(想定)+10mm(鉄筋裏までのはつり厚)を切り上げ、40mmで設定する。

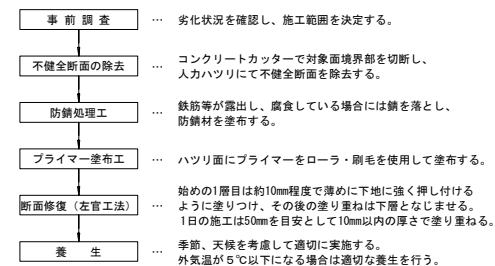
断面修復工詳細図(参考)

左官工法(防錆処理なし)



(※) 下部工の補修深さは各損傷毎に計測した平均の厚さとし、概数とする。

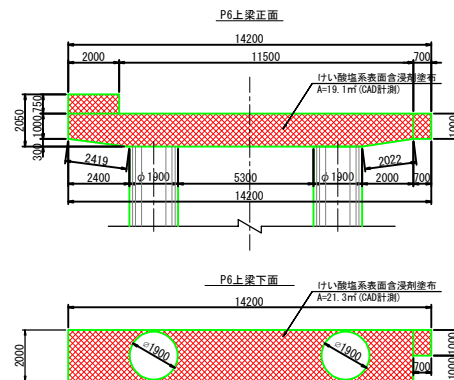
断面修復工(左官工法) 施工手順 (参考)



【特記事項】

- 施工にあたっては現地寸法を再計測すること。
- 損傷を再確認し、図面明示以外の損傷が認められた場合には監督員と補修範囲について協議すること。
- 断面修復工(左官工法)について
 - 下部工の補修深さは各損傷毎に計測した平均の厚さとし、概数とする。
 - 既設コンクリートの脆弱部はこれに寄らず撤去すること。
 - はつり深さが著しく大きくなる場合は、事前に監督員と協議すること。
 - 断面修復材料はポリマーセメント系モルタルを基本とする。(σ_{ck}=24N/mm²以上)
 - P6橋脚上梁部は第三者被害位置であることから断面修復後はけい酸塩系表面含浸材を塗布し、再劣化予防対策を講ずる。
 - P10横断梁上梁部は広範囲に亘る遊離石灰析出であるが、30mm程度ははつり取り、断面修復工にて補修すること。
- ひびわれ補修工について
 - ひびわれ幅が比較的大きいことと、遊離石灰析出が見られたため、充填工法とする。
 - ひびわれ補修材料はポリマーセメント系モルタルを基本とする。(σ_{ck}=24N/mm²以上)
- 遊離石灰除去工について
 - 遊離石灰除去工は電動工具を用いて除去する。除去後にひびわれが確認された際はひびわれ充填工法による施工等、適宜、対策を講ずること。
- 施工に際して
 - 施工の際はコンクリート粉等を落下させぬよう、十分留意すること。
 - 断面修復工施工の際は確実にプライマー処理を施し、再劣化や剥落させないこと。

P-6橋脚表面含浸材塗布図



(※) P6橋脚上梁部は第三者被害位置であることから断面修復後は、けい酸塩系表面含浸材を塗布し、コンクリート表面の緻密化を図り、再劣化予防対策を講ずる。
含浸剤の塗布は露出部を除く上梁部の全ての面とする。

事業年度	令和7年度		
工事名	国庫補助事業 手稲路線橋ほか2橋補修工事		
図面名	下部工補修工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	26
札幌市建設局土木部			